



医療経営士ニュース | これからの医療現場を担う経営人材のための機関紙

MMS NEWS

2022 **7** 月号
Vol.137
毎月1回発行(通巻137号)
編集:日本医療企画

一般社団法人日本医療経営実践協会 〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目20番5号 S-GATE八丁堀9F TEL.03-3553-2906 <http://www.jmmpa.jp/>

第11回「全国医療経営士実践研究大会」WEB大会のプログラムが決定

演題発表の質疑応答が復活 熱い思いをぶつけ合おう!

当協会が本年11月に開催する第11回全国大会のプログラムが決定した。昨年同様1ヵ月間にわたってWEB配信で行われるが、視聴者がリアルタイムで参加できるイベントを拡充。より臨場感を持った形へと進化した今大会におけるプログラムの詳細についてお伝えする。

病院経営の新ステージをオンラインで学ぶ1ヵ月

特別対談では当協会参加で大会運営委員長を務める吉長成恭氏(広島経済大学特別客員教授)がホスト役となり、参議院議員の石田昌宏氏を迎え「アフターコロナ時代の医療と経済、医療機関経営」をテーマに語り合う。男性看護師として初の国会議員であり、医療機関での勤務経験もある石田氏が示す方向性は、これからの医療経営にとって重要な羅針盤となるだろう。

基調講演には当協会理事であり、今年5月に設立された一般社団法人日本医療経営職域対策協議会の代表理事を務める神野正博氏が登壇。今大会のテーマにもある「職域確立」というキーワードが、これからの医療機関における人材教育においてどのような意味を持

つか。神野氏の口から語られる新しい時代の人材育成のあり方に注目だ。

トークセッション(座談会)では、座長に株式会社メディアヴァ取締役の小松大介氏を迎える。出演者には医療経営士1級を持つ5名が決定。新たなステージへ進む病院経営において、活発な意見が交わされることを期待される。

ライブの配信イベントとして行われる「スペシャルトークセッション 医療経営士 思考塾」は、11月8日(火)の15時スタート。昨年に引き続き多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長の石井富美氏が座長を務め、医療経営士が抱える課題を考えていく。

演題発表の配信に加え、ディスカッションも復活。演題発表は昨年同様、事前に収録した発表を配信す

る形で行われる。コロナ前の現地開催において行っていた演題発表者によるリアルタイムの質疑応答を、今大会ではオンラインで会期中の11月17日(木)に実施する。配信で発表を視聴し

た方は、自身の理解を深めるためにもぜひ参加していただきたい。
演題発表の時間は1人当たり15分、審査委員長は大会運営委員長でもある吉長成恭氏が務める。

第11回全国大会 大会プログラム 開催期間: 11月1日(火)~30日(水)

配信方式	プログラム・登壇者
録画40分	特別対談 アフターコロナ時代の医療と経済、医療機関経営 石田昌宏氏(参議院議員) 吉長成恭氏(大会運営委員長/一般社団法人日本医療経営実践協会参与/広島経済大学特別客員教授)
録画30分	基調講演 医療経営士の職域確立とこれからの人材教育 神野正博氏(一般社団法人日本医療経営実践協会理事/一般社団法人日本職域対策協議会代表理事/公益社団法人全日本病院協会副会長/一般社団法人日本病院会常任理事/社会医療法人財団董仙会恵寿総合病院理事長)
録画60分	トークセッション 座談会 病院経営は新たなステージへ! ——今、求められる“人財”と組織体制—— 【座長】小松大介氏(株式会社メディアヴァ取締役)
ライブ60分 11/8(火) 15~16時	スペシャルトークセッション 医療経営士 思考塾 医療経営に関する悩みを参加者全員で考えよう! 【座長】石井富美氏(多摩大学医療・介護ソリューション研究所副所長)
医療経営士 録画各15分	演題発表 演題発表 (テーマ:医療機関事務部門の職域確立・組織構築・人材教育(育成・養成))
ライブ 11/17(木) 14~17時	演題発表者 ディスカッション・質疑応答 【司会】吉長成恭氏(大会運営委員長/一般社団法人日本医療経営実践協会参与/広島経済大学特別客員教授)

詳細は大会特設サイト (<https://conference-jmmpa.jp/>) にてご確認ください



第11回 全国医療経営士実践研究大会 WEB大会

開催期間

2022年

11月1日(火)
▶30日(水)

【大会テーマ】

病院経営は新たなステージへ!

医療経営士の職域確立からはじまる人材革命

参加エントリー/演題発表登録
特設WEBサイトにて受付中!

大会運営委員長 | 吉長成恭 | 広島経済大学特別客員教授/一般社団法人日本医療経営実践協会参与

【事務局】 一般社団法人日本医療経営実践協会事務局 ☎03-3553-2906 <http://www.jmmpa.jp/seminar/zenkokutaiikai/>



第5回(2022年度)「医療経営に関する研究助成」

指定課題研究で1名の採択が決定! 懸賞論文に4名が応募!
医療界に一石を投じる提言・研究に向けてチャレンジを!!

本協会が2018年より開始した「医療経営に関する研究助成」事業も第5回を数える(懸賞論文「日本医療経営実践賞」は2019年よりスタート)。

指定課題研究では3件(いずれも共同研究)の応募があり、選考委員会における厳正な審査を経て、1件の採択が決定した。

昨年、初の最優秀賞受賞者が誕生した懸賞論文には4件(個人2名・共同2名)の応募があり、近日中に受賞の可否が決定される予定である。

表 第5回(2022年度)指定課題・研究助成金支給対象者(敬称略)

▶ 指定課題⑥「医療における生産性の向上」

● 代表執筆者:

渡邊 亮(神奈川県立保健福祉大学ヘルスイノベーション研究科准教授、非会員)

● タイトル:「医療機関の生産性向上に資する医療サービス品質指標の開発」

採択者・渡邊 亮氏からのQ&Aメッセージ

【Q1】 研究を行うことになった経緯、
応募の動機

私たちは、研究・実務・外部支援など様々な形で医療機関の経営に関わってきました。本研究は、ICTをはじめとした技術の進展や少子高齢社会の加速に伴う人口構造・疾病構造の変化も相まって、医療経営においても生産性の向上が極めて重要なテーマの1つになるとの認識から企画いたしました。本研究には、医療経営に関わる様々な立場の方からのご意見をうかがいつつ進めていくことが不可欠であると考えており、実践的な医療経営能力を備えた医療経営士の育成に尽力されている日本医療経営実践協会の研究助成に応募させていただきました。

【Q2】 研究のポイント

本研究では、生産性を「付加価値と投入資源のバランス」として捉え、医療機関の生産性向上には医療サービスの品質向上が重要であるという前提に基づき、「医療サービス品質指標」を作成することを目的としています。医療機関では、すでにQIなど医療の質および経営の質における指標の開発が進んでいますが、本研究では、医療機関のサービス品質を高めるうえで医療機関の外部事業者(院内外でサービスを提供する企業・委託事業者等)も重要な要素と捉えて検討する点がポイントです。

【Q3】 目指す成果

本研究では「医療サービス品質」を効果的に測定する指標の開発を目標としています。医療経営に携わる方々が、これらの指標を測定・管理することで、医療機関のサービス品質、ひいては生産性が向上することを最終的な成果として目指してまいります。

【Q4】 本研究を通じてPRしたいこと、
医療経営士へ向けたメッセージ

医療の世界では1990年代以降からEBMの概念がいち早く浸透していますが、近年では行政における政策立案でもEBPM(Evidence Based Policy Making: 証拠に基づく政策立案)への取り組みが加速しつつあります。マネジメントにおいても、様々な情報を適切に活用した証拠に基づくマネジメントの重要性は高まっており、本研究がそのような取り組みの一助となればと願っております。



選考委員会の提言を踏まえ、研究内容を吟味し採択へ

本年度は、①「医療経営におけるDX」、②「医療機関のポジショニング・機能分化と連携に向けた取り組み」、③「医療における生産性の向上」の3つに、最多会員数を占める医薬品製造・卸売の方々からの応募を促す狙いで、新たに④「医療改革における医薬品企業、医薬品卸売企業の役割」を加えた4つのテーマを指定課題とし、②④に1件ずつの計3件の応募があった。

5月23日に有識者による選考委員会(選考委員長・尾形裕也・九州大学名誉教授)が開催され、6つの審査項目(①テーマ、②独創性、

③研究方法、④倫理性、⑤実現可能性、⑥予算)に基づき厳正な審査が行われ、選考委員会で挙げた要望・提言を踏まえた修正案を再度提出いただき、改めて審議を重ねた結果、渡邊亮氏の共同研究が採択となった(表)。採択者には申請金額に応じて1件当たり最大250万円が支給される。生産性の向上は、生産年齢人口の大幅な減少もあって日本の産業界全般における構造的な課題である。ことに労働集約性が高く、働き方改革を迫られる医療界においては喫緊の課題といえよう。採択にあたり、渡邊氏よりQ&Aメッセージが届いているので、ぜひご一読いただきたい。

4件の応募に、昨年に続く最優秀賞受賞者の誕生は?

懸賞論文「日本医療経営実践賞」については、一昨年より応募の関口を広げるため、論文のみならず事例研究レポート等を含め、形式を問わず優れた内容のものを選考対象とすると改められた。昨年度は初の最優秀賞受賞者が誕生し、懸賞金100万円が授与された。本年度は個人2件、共同2件のいずれも医療機関勤務者による4件の応募があり、昨年に続く最優秀賞受賞者誕生に期待が高まる。

「研究助成アーカイブ」は、会員相互の貴重な共有財産

なお、指定課題研究の間報告会および懸賞論文の授賞記念講演は、本協会指定の期間中にWEB上で配信される予定である。指定期間ほか詳細が決定次第、改めて公表される。

また、本協会ホームページ上の「研究助成アーカイブ」において、過去の「研究助成」に関する成果物(研究要旨・最終報告書・その他資料)および動画が自由に閲覧できるよう常時公開されている。ぜひ本協会会員の貴重な共有財産としてご覧いただくとともに、次回以降の「医療経営に関する研究助成」応募の参考にご活用いただき、医療界に一石を投じるような提言・研究に向けてチャレンジいただきたいと思います。

2022年度診療報酬改定完全対応!

医療経営士中級テキスト 専門講座 第1巻【第6版】

「診療報酬制度と医業収益」～病院機能別に考察する戦略的経営～

【第1章 診療報酬制度の概要】
診療報酬制度の概要/診療報酬の改定/医療経済実態調査/医療における消費税問題/診療報酬の基本的な仕組み

【第2章 病院機能別・診療報酬による戦略的経営】
急性期を中心とする一般病院/回復期・地域包括ケアから慢性期医療を提供する一般病院/精神科病院・精神病床/診療報酬の視点からの重要成功要因

【第3章 診療報酬を巡る論点】
医薬分業/薬剤の償還制度/手術料に関する改定の変遷/医療情報の電子化と診療報酬

【第4章 戦略的経営の推進と経営企画部門】
経営企画部門の設置/診療報酬シミュレーションの方法/統計データの活用/ビジョンに基づいた戦略的経営

最新情報の
チェックと知識の
アップデートに最適!
すでに2級以上を
お持ちの方も
ぜひご一読を!



■ 編著者代表: 井上貴裕(千葉大学医学部附属病院副院長・病院経営管理研究センター長・特任教授) ■ 定価:3,080円(税込)⇒会員価格:2,464円(税込)

※会員価格でご購入は日本医療経営実践協会ホームページより「協会推薦図書注文票」をダウンロードしてFAXにてお申し込みください。

事務局 掲示板

「医療経営士実践研究講座」 (WEB講座)開催中!

専門性と実践力を身につけよう

日本ヘルスケア経営学院では、当協会公認の「医療経営士実践研究講座」をはじめ、さまざまなWEB講座を開催しています。医療経営士の専門性や実践力を高める講座として、大変好評をいただいております。詳細はホームページにてご確認ください。

【日本ヘルスケア経営学院ホームページ】

<https://hcmi-s.net/>

TEL:03-3553-2862



医療経営士の皆様へ 所属先の掲載ご協力をお願い

当協会ホームページでは、会員の皆様から掲載の同意をいただいで、医療経営士が所属する医療機関・企業名を公開しています。

医療機関の抱えるさまざまな経営課題を迅速かつ的確に解決できる能力を有する医療経営士の所属先を公開することで、経営力を持った医療機関であること、医療機関の経営を支援できる人材が所属する企業であることをアピールできます。

掲載のご同意をいただける方は、下記URLまたはQRコードからご登録ください。

【ご登録はこちらから】

[http://www.jmmpa.jp/
support/cat108/](http://www.jmmpa.jp/support/cat108/)



PICK UP 研究会

8/12 東北支部

第11回 みやぎ仙台ネットワーク

「ミドルマネジャーに求められるマネジメントスキル」

宮城県の医療経営士が主体的に活動している「みやぎ仙台ネットワーク」。11回目となる今回の研究会は株式会社ワイズマンの大山実氏を講師に迎え、「ミドルマネジャーに求められるマネジメントスキル」をテーマに開催する。

初めての役職や管理職として新たにどのようなスキルが必要なのか? チームとして効果的に成果を上げるための代表的なマネジメントスキルについて学ぶ。

- 日時
8月12日(金)19:00～20:30
- 開催方式
オンライン(Zoom)
- 参加費(税込)
無料
- お問い合わせ先
日本医療経営実践協会東北支部
TEL:022-281-8536(三浦・浅石)

8/18 関東支部

第1回 もっと幸せな医療研究会

「明日から楽しく働くための3つの知恵」

「医療に関わる人の幸せ」にフォーカスを当てる研究会。第1回は世話人3名が登場。豊島久雄氏(日本経済大学大学院ファーマシーマネジメント研究所)は「もっと幸せになるための3つの観点とは」、福田徹氏(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院救急科)は「チームを幸せにするリーダーの行動」、シュナック千賀子氏(スリーロック株式会社)は「パフォーマンスの停滞をどう乗り越えるか」と題し、それぞれ講演を行う。

- 日時
8月18日(木)19:00～20:30
- 開催方式
オンライン(Zoom)
- 参加費(税込)
無料
- お問い合わせ先
もっと幸せな医療研究会事務局
mottoshiawasena@gmail.com

日本医療経営実践協会 支部研究会スケジュール

開催日	開催支部	テーマ	講師
8月12日(金)	東北	第11回 みやぎ仙台ネットワーク 「ミドルマネジャーに求められるマネジメントスキル」	大山 実氏(株式会社ワイズマン商品企画本部戦略担当専門部長/ ストラテジー・スペシャリスト)
8月18日(木)	関東	第1回 もっと幸せな医療研究会 「明日から楽しく働くための3つの知恵」	豊島久雄(日本経済大学大学院ファーマシーマネジメント研究所) 福田 徹(日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 救急科) シュナック千賀子(スリーロック株式会社 取締役/ コーチングファシリテーター)
9月3日(土)	関西	「イチ」からわかる 介護経営オンライン塾 第5回(全5回) 「高齢者向け住宅の未来介護経営を学ぶ」	古株靖久氏(有限責任監査法人トーマツ) 熊田圭祐氏(有限責任監査法人トーマツ)

※日程等は変更になる場合があります。詳細は協会ホームページでご確認ください。

医療側弁護士による 「トラブルを未然に防ぐカルテの書き方」

医療機関向け連続ウェブセミナー

詳細はコチラ



医療・介護を提供する中で、一定の割合で有害事象が起きてしまい、それが原因で紛争・トラブルになること、ひいては訴訟になってしまうことは避けられません。その際に「カルテ記載」が重要になることはご存じのところかと思いますが、臨床現場でカルテ記載に割ける時間は限られています。どのような場面でカルテ記載に注力し、どのようなポイントを記載すればよいのかを理解するためのセミナーです。

- 第1回 7/21(金) 「カルテ記載の重要性・基本的考え方」(終了)
- 第2回 8/18(木) 「医療行為前の説明・同意取得時の記載」
- 第3回 9/15(水) 「有害事象発生時の記載(特に急変時)」
- 第4回 10/20(木) 「救急対応とカルテ記載・カルテ開示」
- 第5回 11/17(金) 「経過観察・総合判断の場合の記載」
- 第6回 12/15(木) 「逸脱患者・家族対応と記載・その他」

※全日14:00～15:00開催 ※各回終了後に録画配信あり

- 講師 …… 弁護士 山崎祥光
(弁護士法人御堂筋法律事務所パートナー)
- 受講費用 …… ●基本アカウント:66,000円(税込)。同一組織で2名の登録・2名分のURL発行が可能)
●追加アカウント:33,000円(税込)。同一組織で基本アカウントに追加で申し込まれる場合、追加1アカウントで2名視聴可能)
- 開催方法 …… Zoomウェビナー方式

第23回「医療経営士2級」
第36回「医療経営士3級」
資格認定試験 結果詳報

3級受験者・累計5万2,000人、 2級受験者・累計8,500人を突破！

一般社団法人日本医療経営実践協会は、7月12日(火)、第23回「医療経営士2級」および第36回「医療経営士3級」資格認定試験(ともに6月12日(日)実施)の合格者を発表した。2級試験(11会場)は331人が受験し、92人が合格(合格率27.8%)。3級試験(19会場)は915人が受験し、356人が合格(合格率38.9%)した。両試験における結果の詳細を報告する。

2級92人、3級356人の合格者が誕生！

第23回「医療経営士2級」資格認定試験

●結果概要「表1」

受験申込者数366人のうち331人が受験(受験率90.4%)、92人が合格(合格率27.8%)した。第1回からの累計受験者数は8559人、累計合格者数は2328人となった。

●年代別構成「表2」

受験者数は、「40歳以上49歳以下」が最多の123人(全体の37.2%)で、次いで「30歳以上39歳以下」が106人(同32.0%)であった。合格者数では、「30歳以上39歳以下」が最多の32人(全体の34.8%)を数え、「40歳以上49歳以下」が31人(同33.7%)と続いた。合格率の最高は「50歳以上59歳以下」の36.1%で、30.2%の「30歳以上39歳以下」が続いた。合格率では、「病医院」が最多105人を数えた。合格者数でも、「病医院」が最多の36人を占め、次いで24人の「医薬品製造・卸売」、18人の「医療関連企業」が続いた。合格率でも「病医院」が34.3%と、30.5%の「医療関連企業」、27.9%の「医薬品製造・卸売」を超え、受験者数、合格者数、合格率のすべてでトップを飾った。

第36回「医療経営士3級」資格認定試験

●結果概要「表4」

受験申込者数1051人(振替申込者数1人を含む)のうち915人が受験(受験率87.1%)し、356人が合格(合格率38.9%)した。この結果、累計受験者数は5万2034人、累計合格者数は2万2357人と続いた。合格率では、「病医院」が最多102人(全体の28.7%)を数え、次いで70人の「医療関連企業」が続いた。合格率でも「病医院」が45.1%と、40.6%の「医薬品製造・卸売」を超え、受験者数、合格者数、合格率のすべてでトップを飾った。

●年代別構成「表5」

受験者数、合格者数ともに、「30歳以上39歳以下」が303人(全体の33.1%)、124人(同34.8%)と最多で、「40歳以上49歳以下」が274人(同29.9%)、123人(同34.6%)と続いた。合格率の最高は「50歳以上59歳以下」の47.1%で、44.9%の「40歳以上49歳以下」が続いた。合格率では、「病医院」が45.1%と、40.6%の「医薬品製造・卸売」を超え、受験者数、合格者数、合格率のすべてでトップを飾った。

●勤務先別構成「表3」

受験者数では、「病医院」が最多105人(31.7%)を数え、次いで24人の「医薬品製造・卸売」、18人の「医療関連企業」が続いた。合格率でも「病医院」が34.3%と、30.5%の「医療関連企業」、27.9%の「医薬品製造・卸売」を超え、受験者数、合格者数、合格率のすべてでトップを飾った。

	第23回試験	第1~23回試験累計
受験者数	331人	8,559人
合格者数	92人	2,328人
合格率	27.8%	27.2%

年代	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	29人 (8.8%)	4人 (4.3%)	13.8%
30歳以上39歳以下	106人 (32.0%)	32人 (34.8%)	30.2%
40歳以上49歳以下	123人 (37.2%)	31人 (33.7%)	25.2%
50歳以上59歳以下	61人 (18.4%)	22人 (23.9%)	36.1%
60歳以上	12人 (3.6%)	3人 (3.3%)	25.0%

勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	105人 (31.7%)	36人 (39.1%)	34.3%
医療関連企業	59人 (17.8%)	18人 (19.6%)	30.5%
医薬品製造・卸売	86人 (26.0%)	24人 (26.1%)	27.9%
医療機器製造・販売	19人 (5.7%)	3人 (3.3%)	15.8%
金融機関	32人 (9.7%)	4人 (4.3%)	12.5%
大学生・短大生	1人 (0.3%)	0人 (0.0%)	0.0%
その他	29人 (8.8%)	7人 (7.6%)	24.1%

	第36回試験	第1~36回試験累計
受験者数	915人	52,034人
合格者数	356人	22,357人
合格率	38.9%	43.0%

年代	受験者数	合格者数	合格率
29歳以下	193人 (21.1%)	60人 (16.9%)	31.1%
30歳以上39歳以下	303人 (33.1%)	124人 (34.8%)	40.9%
40歳以上49歳以下	274人 (29.9%)	123人 (34.6%)	44.9%
50歳以上59歳以下	127人 (13.9%)	41人 (11.5%)	32.3%
60歳以上	17人 (1.9%)	8人 (2.2%)	47.1%

勤務先	受験者数	合格者数	合格率
病医院	226人 (24.7%)	102人 (28.7%)	45.1%
医療関連企業	211人 (23.1%)	70人 (19.7%)	33.2%
医薬品製造・卸売	271人 (29.6%)	110人 (30.9%)	40.6%
医療機器製造・販売	29人 (3.2%)	7人 (2.0%)	24.1%
金融機関	78人 (8.5%)	30人 (8.4%)	38.5%
大学生・短大生	9人 (1.0%)	4人 (1.1%)	44.4%
その他	90人 (9.8%)	33人 (9.3%)	36.7%

※カッコ内の数値は全体に占める割合。小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。
※2級および3級試験における勤務先別の「金融機関」は第3回(第6回)から、「医薬品製造・卸売」は第16回(第23回)から、「医療機器製造・販売」は第21回(第30回)から追加された(カッコ内は3級試験の試験回)。
※勤務先別の「その他」には、弁護士、税理士等の士業、建設会社等の一般企業が該当する。

医療経営士 3級 2級 資格認定試験

医療経営士 資格認定試験 日程

試験日 **10月16日**

2022年

受験エントリー期間 **8月1日(月)~8月29日(月)**

受験料支払締切日 **8月30日(火)**

	第37回「医療経営士3級」	第24回「医療経営士2級」
受験料 <small>※手数料別途</small>	9,100円(税込)	16,000円(税込) 両分野受験者 14,000円(税込) 分野受験者 (分野合格者)
受験資格	年齢、学歴、国籍等の制約はありません	3級資格認定試験合格者かつ、本協会正会員
試験会場	札幌・盛岡・仙台・さいたま・東京・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・鹿児島・那覇	札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・大阪・広島・高松・福岡・那覇

受験エントリー

8月1日(月)よりスタート!!

同僚やお知り合いの方に紹介ください

※受験エントリーにはマイページへの登録が必要になります。詳しくは協会ホームページをご確認ください。

団体受験 ◇受験者10名を超える場合、団体としてまとめて申し込みできます。
◇一定の条件を満たした場合、認定会場制度をご利用できます。※審査があります。